

## 平成18年度の血漿分画製剤の需給状況(需給計画との比較)

製剤名	換算規格・単位	製造・輸入量		③供給量	自給率(供給ベース)	
		①計	②うち国産原料		17年度	18年度
		上段:実績(達成率) 下段:需給計画	上段:実績(達成率) 下段:需給計画	上段:実績(達成率) 下段:需給計画		
アルブミン	25%50ml(瓶)	3,558,600 (106.1%) 3,353,100	2,130,800 (114.2%) 1,866,500	3,285,800 (100.9%) 3,255,500	53.7%	56.8%
乾燥人フィブリノゲン	1g	3,300 (106.5%) 3,100	3,300 (106.5%) 3,100	2,800 (112.0%) 2,500	100.0%	100.0%
組織接着剤	接着面積(cm <sup>2</sup> )	10,624,400 (110.9%) 9,581,500	5,399,500 (127.0%) 4,250,000	10,253,900 (110.2%) 9,308,100	45.3%	49.6%
血液凝固第Ⅳ因子(遺伝子組換え型含む)	1000単位(瓶)	297,200 (87.5%) 339,700	121,700 (93.8%) 129,700	306,600 (93.2%) 328,900	39.3%	35.6%
乾燥濃縮人血液凝固第Ⅲ因子(複合体含む)	1000単位(瓶)	46,500 (124.0%) 37,500	46,500 (124.0%) 37,500	38,400 (105.5%) 36,400	100.0%	100.0%
インヒビター製剤	延べ人数(人)	13,200 (107.3%) 12,300	0 0	13,400 (134.0%) 10,000	0.0%	0.0%
ヒト血漿由来乾燥血液凝固第ⅤⅢ因子	(瓶)	108,400 (67.6%) 160,400	0 0	125,700 (91.6%) 137,300	0.0%	0.0%
トロンピン(人由来)	10000単位(瓶)	34,000 (114.9%) 29,600	34,000 (114.9%) 29,600	44,300 (148.7%) 29,800	100.0%	100.0%
人免疫グロブリン	2.5g瓶(瓶)	1,494,900 (100.3%) 1,490,800	1,398,400 (102.8%) 1,359,900	1,408,000 (107.0%) 1,315,400	88.6%	91.2%
抗HBs人免疫グロブリン	1000単位(瓶)	19,500 (89.4%) 21,800	600 (100.0%) 600	19,000 (80.2%) 23,700	2.6%	2.2%
乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	1000倍	8,700 (124.3%) 7,000	0 0	9,100 (101.1%) 9,000	0.0%	0.0%
抗破傷風人免疫グロブリン	250単位(瓶)	98,200 (86.3%) 113,800	0 0	71,400 (94.9%) 75,200	0.0%	0.0%
乾燥濃縮人アンチトロンピンⅢ	500単位(瓶)	418,800 (123.0%) 340,600	391,700 (119.2%) 328,600	388,600 (100.2%) 387,800	94.9%	96.3%
乾燥濃縮人活性化プロテインC	2500単位(瓶)	640 (213.3%) 300	640 (213.3%) 300	230 (76.7%) 300	100.0%	100.0%
人ハプトグロビン	2000単位(瓶)	44,700 (108.5%) 41,200	44,700 (108.5%) 41,200	41,200 (93.8%) 43,900	46.7%	100.0%
乾燥濃縮人C1-インアクチベーター	500倍(瓶)	340 0	0 0	540 (85.7%) 630	0.0%	0.0%

注1. 数値は、製品の規格別に報告された数量を集計し、代表的な規格・単位に換算したうえ、四捨五入により100又は10の整数倍で表示した。

注2. 液状タイプの組織接着剤については、接着・閉鎖部位の面積当たりの使用量を勘案して換算し、インヒビター製剤については、体重50kgの人への投与量を標準として人数で算出した。